

## 春のインターユニ・ゼミナール

33. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur  
参加者募集のお知らせ



**テーマ: 変化する大学 — Studium im Wandel**

- 日時: 2014年3月14日(金)~18日(火)
- 場所: 国際医療福祉大学那須セミナーハウス(栃木県那須塩原市)  
東京(池袋駅)から往復のチャーターバス(片道2500円)が用意されます。
- 参加費: 35,000円(4泊5日の宿泊・食事を含む。交通費は別途。)
- 参加資格: ドイツの文化・社会に関心を持ってドイツ語を勉強している学生・院生、および社会人。  
(ドイツ語学習歴が必要ですが、今年度にドイツ語学習を始めた方も対象です。専攻は問いません。)
- 募集人数: 80名程度

参加申込みは次のサイトから: <http://www.interuni.jp/anmeldung>

大学に入って Studium を満喫しているところだと思います。しかし大学とは、そもそも、何を何のために学ぶところでしょうか? これは実は、国によっても時代によっても、大きく異なります。

いま、日本でもドイツでも、大学制度は、想像以上に激変しつつあります。どちらの国でも、大学改革のキーワードは「国際化」と「競争」です。こうした変化は、みなさん自身の日々の学生生活とどう関係しているのでしょうか?

今年のインターユニでは、みなさん自身の大学生活について、また将来の大学の姿について、ドイツ語を学びながら、日本語とドイツ語で議論をしてみましょう。



Wilhelm von Humboldt

◎ 詳しくは <http://www.interuni.jp> をごらんください。

主催: インターユニ・ゼミナール実行委員会(代表:相澤 啓一、浜崎 桂子)、共催: 筑波大学 TEACH (=日独韓共同修士課程)

協力: Goethe-Institut(ドイツ文化センター) Deutscher Akademischer Austauschdienst(ドイツ学術交流会)

講師(予定): 足立 信彦(東京大)、相澤 啓一(筑波大)、Stefan Buchenberger(神奈川大)、浜崎 桂子(立教大)、Christoph Hendricks(ジャーナリスト)、Morten Hunke(愛知県立大学)、鎌倉 澄(学習院大)、大山 浩太(明治大)、Matthias Pfeifer(静岡県立大)、高橋 優(宇都宮大)、辻 朋季(明治大)、他

ゲスト: Holger Finken(ドイツ学術交流会)、他

全国の大学から、またドイツや韓国からも、いろいろな大学の学生が参加する合宿ゼミです。ふるってご参加ください。

連絡・問い合わせ先は:

<http://www.interuni.jp/mail>

